

# 城南家保ニュース Vol.30-4

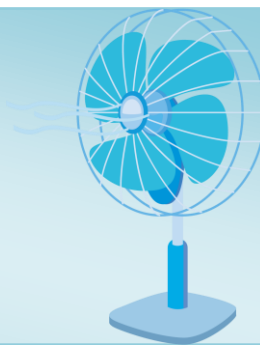
熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

メールアドレス [jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp](mailto:jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp)

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojounan>



## 夏期休暇のシーズンが近づきました、防疫対策の徹底を！

平成30年7月4日付けで農林水産省から、出入国者が増加し国内に家畜伝染病が侵入するリスクが高まる夏休みシーズンに備え、飼養衛生管理基準の遵守による農場防疫対策に万全を期するよう通知が発出されました。通知の内容はおおまかに以下の①～③のとおりです。

### ①畜産関係者等は口蹄疫等の発生地域への渡航を可能な限り自粛する。

- 仮に渡航する場合には、農場、と畜場、家畜市場などの施設に立ち入らない。
- 海外では動物との不要な接触を避ける。
- 肉製品等を日本に持ち帰らない。
- 帰国の際には、空海港の動物検疫所カウンターで家畜防疫官の指導を受ける。
- 帰国後1週間は衛生管理区域（家畜の飼養エリア）には立ち入らない。やむを得ず立ち入る場合には、洗髪・入浴・更衣等の適切な措置を講じる。

### ②衛生管理区域への病原体の持込み防止と消毒を徹底する。

- 看板を設置し部外者が立ち入らない、不要な物を持ち込まないようにする。
  - 農場主や従業員も含め、衛生管理区域や畜舎に入る時、物を持ち込む時は消毒を行う。
- これらの項目は飼養衛生管理基準に規定された30数項目の中でも特に重要です。  
必ずできているか、常に自己チェックをお願いします！



家畜伝染病予防のため  
ご協力をお願いします。



農場入口の看板  
(部外者立入禁止)



農場入口の車両消毒  
(石灰散布や噴霧器による消毒)



畜舎入口の消毒  
(液体の消毒槽か石灰散布)

### ③早期発見・早期届出を徹底する

- 口蹄疫等を疑う特徴的な症状の家畜を発見したら速やかに当所へ連絡をする。

## 牛白血病（地方病性牛白血病：EBL）の感染対策について

近年、感染対策へ注目が高まっている EBL ですが、平成 30 年 6 月 30 日にくまもと県民交流館パレアにおいて、熊本県獣医師会農林水産部支部主催の EBL 感染対策研修会が開催されました（講師：宮崎大学産業防疫リサーチセンター 目堅博久先生）。

講演のなかで、感染対策における興味深い知見が得られましたのでご紹介します。

### ① 感染牛が体内に保有するウイルス量は、長期間安定する

感染当初の 6 ヶ月ほどを過ぎると、体内でウイルス量はさほど変動しないので、1 度ないし 2 度ウイルス量を把握できる遺伝子検査を実施すると、感染牛が同居牛にウイルスを広げるリスクの度合いが効果的に把握可能である。

### ② 母牛体内のウイルス量は一定量を境に、子牛への胎盤・産道感染率に大きな差がある

ウイルス量の多い母牛から生まれた既に胎盤感染・産道感染している子牛に対して、労力をかけ初乳や母乳からの感染対策をしても効率が悪い。母牛の保有ウイルス量を把握し、可能な限りウイルス量が多い母牛から後継牛を生産しないのが最も有効である。

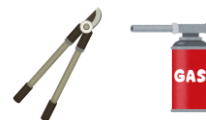
### ③ ハエ・アブにとって“迂回”は複雑な動作である

EBL を伝播するやっかいなサシバエやアブなどの吸血昆虫は、「直線的に動き、牛が排出する二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を頼りに次の牛へ飛行し吸血する」。陽性牛房を牛舎の隅に配置し、隣の牛房との間に一方向だけ、高さ 2m ほど仕切れば、陽性牛房の四方全てをネットやコンパネ板で仕切らなくても感染の拡散が効果的に防止できる。わざわざ迂回するのは、吸血昆虫にとって面倒な動作とのことです。



### ④ 除角時の出血では焼絡止血が非常に重要である

30 頭のうち 8 頭が EBL 感染牛だった牛群で、除角時に焼絡止血を十分実施しなかった場合、3 か月後に感染牛がさらに 7 頭増加した。止血を十分行った牛群（20 頭中 6 頭が感染牛）では感染牛の増加は 0 頭だったというデータが示された。



※本病の対策へご質問・ご相談があればお気軽に当所へお問い合わせください

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ	H5N2	台湾(8件)	肉用あひる・肉用がん・ 地鶏	平成30年5月14日 ～6月22日
	H7N9 H5N1	中国(2件)	採卵鶏・ブロイラー	平成30年5月22日～6月12日
口蹄疫	O型	中国(2件)	牛	平成30年5月20日～6月5日

平成30年7月1日現在

### 編集後記 (M.K)

4年に1回サッカーの祭典 W 杯が開催中です。私もテレビにかじりつき観戦しているクチです。その代償としていささか寝不足な日々でもありましたが、日本代表や世界のスター選手の活躍に胸躍るものがありました。私たちも家畜衛生行政のスターとまではいかずとも、ご当地タレント?!程度には皆さんに愛され、実力ある技術者でありたいと感じました。